

No

90

「社会福祉法人みんなの会」を

ささえる会だより

事務局 〒207-0031 東大和市奈良橋 6-728-2 TEL 042-564-1900 FAX042-564-1905

第27回 支援コンサート
COCORO*CO大盛況に終わる!

2月4日(日)、ハミングホール大ホールにて開催されました。来場者数は563名、例年より遅い開場となりましたが、当日は晴天にも恵まれました。当日は晴天にも恵まれ早くから行列ができ、待ちきれない様子でした。そして、いよいよ本番。自己紹介から始まり、とてもパワフルで心ゆさぶる演奏に魅せられました。トークも楽しく、愛と平和のメッセージが十分届き、感動的でした。ロビーでのみんなの家の作品も毎年好評で、始まる前後や休憩時間は大にぎわいでした。今回は、新しい施設建設にともない、そのコーナーを設け、ドーナツを販売し、おひねりで募金の訴えなども行いました。介助の安全性など、課題も残りましたが、次年度

に向けて改善を重ねていきたいと思えます。当日、朝早くから準備して下さった皆さん、販売や送迎、介助、会場整理など手伝って下さったボランティアの皆さん、そして、お忙しい中いらしてくださったお客様、本当にありがとうございました。

実行委員 脇田正子



第28回 ささえる会総会

4月28日(土) 午後2時
向原市民センター集会室

お忙しいこととは存じますが
是非、参加いただきますようお願い致します



大賑わいの会場

ボランティアさんから
の感想です

新施設建設コーナー

自己資金確保のための
ドーナツの販売を二人
で担当しました。はじめ
のうちは、カゴの中にき
れいに並べていたので
すが、お客さんが集中し
た時は、三種類のドーナ
ツをカゴに並べるのが
忙しい時もありました。
三十個もまとめて買っ
てくれた人もいました。
施設建設の足しになれ
ばと協力してくれた方
が、たくさんいたと感じ
ました。お釣りをカンパ
箱に入れて下さった方
も、三百個も売れて良か
ったです。

佐藤晴子



販売準備 OK！

せせえる会コーナー

みんなの家のボランティ
ア活動は2回目です。コーヒ
ー販売を担当させていただ
きました。前回を上回る売れ
ゆきとのこと、準備したコー
ヒーが無くなり、追加する程
でした。来場者に、「コーヒ
ーだけなの。」と聞かれ、コ
ーヒー以外の飲み物あった
ら良かったのかなと思いま
した。また、コンサートは魅
力的で楽しませていただき
ました。これからも続けて、
ボランティアとして参加し
たいと思います。堀江千代子

販売コーナー

準備は職員の方がもうき
れいに並べてくださってい
て、担当者がしっかり全体を
把握しているので安心して
販売に立つことができました。
とは言え、どんどんお客
様が入場してきて、品定めを
始めると買ってもらいたい
気持ちになってお勧めした
りします。こんな時実際作っ
た所員さんがいて難しかっ
たところや工夫したことな
ど語ったらもつといいので
はないでしょうか。作り手
にしても直にお客様の声を
聞けるのはいい機会だと思
うのです。また、立て込ん
でくるとお金のやり取りや
品物を包んでお渡し、それを
チェックするのが大変、もう
ひと工夫がほしいと思いま
した。コンサートに来て下さ

った方に日頃の活動も見てもらえるという大事な仕事を
お手伝いさせてもらいや
りがいいのあるボランティア
活動でした。 関野正子



観客とも交わり楽しい様子で

送迎担当

第27回支援コンサート
送迎ボランティアに参加さ
せて頂いて所員の皆様の顔
と住所が一致する様になり
ましたが前日コースをひと
まわりしました。余裕の中に
落とし穴が無いか気をつけ

ながら、まず安全運転、時間
通り着くか緊張します。所員
の皆様も、来場者の方々も事
故無く楽しめて本当に良か
ったと、ほっとしました。
これからも思いやる心、い
つくしむ心、生かされて居る
意味を噛みしめながらボラ
ンティアに参加させて頂きた
いと思います。 安保知美



会場案内

スムーズに、且つお客様に
不快感を与えることなく、ご
案内せねばと緊張しました。
が、皆様が温かくて、他の会
場係の方と分担し、フオー
しいながら、なんとか大き
な混乱もなく、ご案内がで
きたのではと思います。「森
田さんの娘さん？」と声をか
けてくださる方も何人もいて、
話し込みすぎないよう気を
つけつつ、自分自身楽しみな
がら過ごすことができました。
森田めぐみ



ボランティアアさん登場



私はみんなの家をつくる

ころからかかわってきました。「障害者の共同作業所を東大和にも作りたい!」と狭山にお住いの加藤さんたちが献身的に始めました。これまで家族のため、会社のためと一生懸命働いてきた方が、病気で、事故で障害を持った時、どんなに戸惑い、落胆したことでしょう。障害者の社会参加、働く場が必要だ、との思いから出発しました。

何も無いところからの出

発となりました。「作業所が必要」と障害者の方が自宅を提供してくれて、作業所づくりが始まりました。あの家が引越して机がいなくなったからと机をもらい、中学校の椅子がいなくなったからと椅子をもらって、作業所を充実させてきました。

所長も職員も、ボランティア精神で一体となって頑張ってきました。私もその一人として参加させてもらいました。

みんなの家は、ボランティアアさんや土地・建物を提供してくれている家主さんたち多くの方々の協力・善意で支えられてきたといってもいいと思います。

ところで、障害者施策は「市民の善意に頼る」ボランティア

ティア頼みの安上がりの障害者施策」のでいいのでしょうか。障害者が健康で、暮らしの心配もなく社会参加をしていくうえで、みんなの家のような施設は必要です。ここで働く職員の待遇も公務員並みになるように、国・都・市の施策の中に位置付けてほしいと思います。

会費・賛同金報告 (3月16日現在)

会費 209口

賛同金 295口

今年度も皆様にご協力いただき、本当にありがとうございました。